





\_\_\_\_ 子ども未来創造館がオープンしました。 \_\_\_\_ じょうずに折紙できるかな

◆こういうことを決めました2p◆非核平和都市宣言を決議3p◆常任委員会報告4~6p◆ここが聞きたい一般質問7p◆特集「議会議員 県外視察研修」8~10p◆地域紹介上九一色11p



助役に原田広幸氏(五 三月臨時議会は、三月 とに同意した。 二十四日に開催され、 十六歳)を選任するこ

十日に開催され、 四月臨時議会は、 会等委員を決定した。 議席指定及び各種委員 により当選した二名の 一色南部から増員選挙 上

れた。 のとおり可決・同意さ され、次の議案が原案 の四日間に亘って開催 十二日から十五日まで 六月定例議会は、六月

する条例 保険税条例の一部を改正 ○富士河口湖町国民健康 万円から九万円に改めた。 介護納付金課税額を八

例の一部を改正する条例 業者小口資金融資促進条 貸付条件を改めた。 軽減を図るため保証料 小規模企業者の負担の

○富士河口湖町小規模企

〇老人保健特別会計補正 (第一号)

6月定例会

払基金交付金三百十四万 増額し十六億四百三万一 ぞれ三百十四万一千円を 千円が主なものである。 繰上充用金三百十四万一 一千円、歳出は、 千円とする。歳入は、 歳入歳出の総額にそれ 前年度 支

## 0 般会計補正予算

した。 度に繰り越すことを承認 億二千八百万円を翌年 可動式屋根建設事業の 教育費のステラシアタ (第一号)

者の定数等を変更した。 から芦川村を脱退させ、 組合議員の内訳、副管理 〇青木が原ごみ処理組合 体の数の減少及び同組 を組織する地方公共団 青木が原ごみ処理組合 台規約の変更

義務教育における一部事 に在住する生徒に対する ○富士河口湖町と甲府市 旧上九一色村北部地区 との義務教育に関する 甲府市梯町・古関町 部事務の受託

務の受託に関する規約を 制定した。 の指定

定した。 人等に委託することを指 町が所有する施設を法

①河口湖美術館

④河口湖ハーブ館 ③大石紬伝統工芸館 ②船津胎内フィールドセ ンター(創造の森デイ キャンプ場含む)

⑥河口湖創造の森オート ⑤河口湖自然生活館

8富士河口湖町ふれあい ⑦河口湖ハーバル工房 こども館 キャンプ場

ら⑧までを社会福祉法人 の期間は平成十八年七月 議会とした。なお、指定 るさと振興財団に、⑦か を財団法人富士河口湖ふ ①から⑥までの指定管理 月三十一日までとした。 富士河口湖町社会福祉協 一日から平成二十三年三

審議会条例 〇富士河口湖町総合計 〇町有施設の指定管理者

(河口湖ミューズ館含む) 度区分認定審査会の委員 定めた。 定数等を定めた。 定により設置する障害程 ○富士河口湖町障害程度 障害者自立支援法の規 の定数等を定める条例 区分認定審査会の委員

根場を設置し、 の管理及び入館料等を定 〇西湖いやしの里根場条例 西湖根場にいやしの里 その施設

○町道の路線認定

色線一・二キロメートル 地内の県道河口湖上九一 津地内の四路線及び河口 を新たに町道として認定 宅地分譲開発に伴い船

〇国民健康保険料特別会計 補正予算 歳入歳出の総額にそれ (第一号)

事務、組織及び任期等を 必要な事項を調査審議す る総合計画審議会の所掌 計画及びその実施に関し の発展を図るための長期 住民福祉の向上と町政 理費二百十三万九千円が 増額し二十億三千二百二 ぞれ二百十三万九千円を 九千円、歳出は、 入は、繰越金二百十三万 十三万二千円とする。

ものである。 五万二千円を減額が主な はなく、歳出の総務費五 万二千円を増額し予備費 〇介護保険特別会計補 歳入歳出の総額に増減 (第一号)

備費四万円を減額が主な はなく、歳出の地域支援 事業費四万円を増額し予 〇居宅介護支援事業特別 歳入歳出の総額の増減 会計補正予算 (第一号)



▶上九一色中学校

一般管

主なものである

千万円が主なものである。 は、下水道工事請負費三 千七百五十万円、繰入金 る。歳入は、下水道債一 五億七百六万一千円とす ぞれ三千万円を増額し十 〇下水道事業特別会計補 一千二百五十万円、歳出 歳入歳出の総額にそれ 一号

## 0 般会計補正予算

円が主なものである。 備関連事業三千百二十万 百五十万円、 児童手当四千六百五十五 県支出金三千六百三十六 出金三千六十三万九千円、 千四百五十万円、 とする。歳入は、 ぞれ一億七千九百四十九 交付金事業いやしの里整 の観光集客調査業務委託 万円、上九一色南部地域 万一千円、繰越金三千百 八億九百四十九万五千円 万五千円を増額し百二十 七十六万九千円、歳出は、 歳入歳出の総額にそれ まちづくり 国庫支 町債七

○富士河口湖町西湖いや

として積み立てるため制 得られる使用料・入館料 開館にあたり、 定された。 及び駐車料の一部を基金 西 0 しの里づくり基金条例 全部を改正する条例 湖いやしの里根場の 施設から

七月三日に行われた一

対策を講ずるために策定 め び生活環境の整備等を定 色村南部)に生産機能及 富士ヶ嶺地区(旧上九一 定に基づき精進、本栖 措置法に関する法律の規 〇富士河口湖町過疎地域 自立促進計画策定の承認 過疎地域自立促進特別 総合的かつ計画的な

号

された。

▶ステラシアター

○河口湖ステラシアター 可動屋根增設工事請負

ものである。

決が必要であることから 例の規定により議会で議 で落札した。議会は、条 組・早野組共同企業体が これを議決した。 六億一千六百三万五千円 般競争入札の結果、鴻池

> 〇船津・大石・勝山・大 の同意 嵐財産区管理委員選任

勝山財産区 船津財産区 大嵐財産区 大石財産区 朝比奈一治 渡辺 太傅 満

意した。 各氏を選任することに同 " 渡邊 榮治

## 獋

りです。 た。決議文はつぎのとお の観点から宣言を決議し 議会は、 核兵器廃絶等

悲惨さや恐ろしさを全世 験した国民として、その 都市宣言(全文) 界に伝えていく重要な役 となっています。 お世界では戦争がやま 類共通の願いであります。 の核兵器による被爆を体 私たちは、世界で唯 世界の恒久平和は、人 富士河口湖町非核平和 しかしながら、今もな 核兵器は人類の脅威

> 代を担う子供たちに引き 継いでいくために、私た 割を担ってします。 士河口湖の地を守り、次 な自然に恵まれたこの富 先人が築いた、緑豊か

努めていきます。 町」を宣言します。 核平和都市「富士河口湖 いを新たにし、ここに非 廃絶を求め、平和への誓 平成十八年六月十五日 すべての国の核兵器の

富士河口湖町議会

各種委員会等の所属は次

のとおり。

## 度を堅持し、教育の機義務教育費国庫負担制 会均等及び水準の維持

正

向上を図るための請願

学大臣等に意見書を提出 義務教育費国庫負担金に 願を全会一致で採択した。 ついては負担率を二分の 会等から提出がされた請 一に復元するよう文部科 南都留地区PTA協議

する意見書

道路特定財源確保に関

出した。 び道路ネットワークの構 となく、すべての道路整 財源を一般財源化するこ 交通大臣等に意見書を提 築を早急に図るよう国土 備財源に充当すること及 致で採択し、 議会は、 意見書を全会 道路特定

# 名が新た

渡辺袈裟一議員

行われ、二名の議員が選 員増員選挙が四月九日に 出された。 上九一色村南部地区の議 三月一日に合併した旧



間を育み、平和の実現に 土を愛しこころ豊かな人 ち富士河口湖町民は、郷

渡辺袈裟一

義行 熊谷

熊谷 義行議員

審議会 青木が原ごみ処理組合 議会だより編集特別委 青木ヶ原衛生センター 上九一色簡易水道事業

青木が原ごみ処理組合

上九一色簡易水道事業

青木ヶ原衛生センター

議会だより編集特別委 文教社会常任委員会

産経土木常任委員会

委 副委員長 委 員 長 三浦 古谷 渡辺金一郎 芳信 康夫

渡辺 周次

### 所 管 全 般

器の設置が必要であり

は六月一日より火災報知

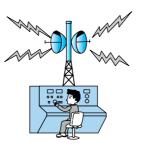
管理課長 今後の設置計画は。 のくらいあるのか、 現在防火水槽はど 防火水槽の設 また

お願いしている。町の防 り私設が三十五基である。 火水槽は三百十二基であ ただき基本的には無料で 置要望は相当数あり、 に設置する予定である。 本年度河口・根場・大嵐 有地の敷設は承諾書をい 火災報知器の設置

により新築住宅において 管理課長 消防法の改正 義務化の取組みは。

私 れるよう注意を促してゆ 災報知器の設置義務をさ る。広報でもお知らせし 後には火災報知器の設置 既存住宅においても五年 たように正しい住宅用火 が義務化される法律であ

るが町に苦情はないのか。 聞こえないという声があ 卓上の防災無線が



▲火災警報器

ている『定住促進に関す る条例』に基づき、

である。

転入

町ですでに実施し

れる制度 が受けら の交付金

十七年度に創設

的に推進するための支援 工夫を活かしながら計画 住宅政策を自主性と創意 境整備など地域における

四十五%

三十万円の助成に対して

対象となり、

一件あたり

企画課長 度とは、

国が、

居住環

宅建築等奨励金事業』が 住宅の購入など『新築住 者による新築住宅や建売 般会計総務常任委員会関係補正予算

第二号

地域住宅交付金制

色地区に届かない。そこ あり修正をかけている状 ているが、 が悪くなったことも聞い 設け全町に電波が飛んで 階からの発信では上九一 の発信系統を今構築して 況である。 いる状況である。聞こえ いる段階であり、庁舎三 管理課長 紅葉台に中継基地を まだ試験的で 町全体を一つ

▶消火器

を利用させていただき約 中で道路に面した壁など されているが、 八百基用意し管理してい 火器で、 番早いのは近くにある消 はどのようにしているか。 に設置されているが管理 いたずらや壊れている。 有効期限五年だが、 消火器が各自治会 各家庭でも設置 初期消火で一 町全体の

ている。

課税しており家屋につい

てもホテルは現在課税し

産の評価はどのようにし 嶺・本栖・精進の固定資 合併した富士ヶ いる。

という連絡には対応して

ということで税額が一億 課税標準額が免税点以上 調書を作成し提出するか 税務課長 千八百万円となる。 県の方に概要

> 考える。 保たなければならないと の間に一筆調査を計画実 は二十一年度であり、 年に一度の次期評価替え 施し公平・公正・均衡を そ

地、 であるが土地については はゴルフ場用地、 産の関係はどのようにな 税務課長 土地につい っているか。 ホテル敷地他は原野 ガリバー 0 旧遊園 固定資 7

併構想が県から示され新 する勉強会を立ちあげる されているが、 併という事で県構想がな 立独歩で県の構想に反対 聞報道もなされたが、 企画課長 ているか。 についてどのように考え さらなる市町村合 近い将来の合 その合併 独

あり、今現在は静観して 強い中で、 つ招集されるのか微妙で 話もあり、この温度差が したがらない空気がまだ ひどいというか、 次の会議がい 合併を

## 文 教 社 会

副委員長 委 委 員 長 白壁 髙山 渡辺 梶原 渡辺余緒治 渡辺袈裟一 義美 泰治 凱保

### 所 全 般

実が図れる

て、

健康プラザの

)一層充

状況が悪いが対策は。

の安定等が期待されてい

あり、

雨天後のグランド

なる。 る中、 整等で大学と打ち合わせ 改定・機器の試運転や調 定していたが、 健康増進課長 設としての開業は。 (健康プラザ隣) 開業は九月初旬と 健康指導センター 医療法の 七月を予 の医療施

介護保険特別会計補正予算 老人保健特別会計補正予算

般会計文教社会常任委員会関係補正予算

義務教育費国庫負担制を堅持し、

教育の機会均等

(第二号)

水準の維持向上を図るための請願

国民健康保険特別会計補正予算

(第二号) (第一号)

号

等に持ちまわる。増設は 管理課で購入しイベント 健康増進課長 動機)増設の考えは。 AED(自動体外式除細 緊急時に使用する 今年一台

今後検討していく。 レジオネラ菌のチェッ 町営温泉施設の

海洋療法であり、

モンゴ

の健康増進を目的とした

健康づくり専門監 しい説明を求める。

町民

ては、

皮膚の関係・血圧

するタラソセラピーの詳

健康プラザに開設

今後検討していく。

健康増進課長 効能とし

〜三回塩素濃度を測定 湯健康プラザは毎日二 健康増進課長 見問 細心の注意を配っ 上九一色南部地 芙蓉の

▲生涯学習館・子ども未来創造館

検証し、来年四月にオー

後三ヶ月くらいモニター

八月に着工して、完成

を設置するものである。 海水バス・十倍海水バス た自然塩を使って、二倍 ルの岩塩・塩湖から取れ

プン予定。

運用方法は

域には小中学校が三校

船津保育所・小立

https://safety.town.fujikawa

guchiko.yamanashi.jp/

模と考えている。 小学校は、学習環境とし 的に対処していきたい。 て一学年二~三クラスで、 九校、中学校四校がある。 れているが、町の対応は。 校の統廃合が取りざたさ しており、今後年次計 一クラス三十名が適正規 県の指針で小中学 町内には小学校 耐震工事を計画

件等を加味しながら研究 生徒数の動向・地理的条 予定である。 立ち上げて審議していく を立ち上げ、 中学校適正配置研究会\_ し、その後 六月十九日に「町立小 「審議会」を 今後の児童

きない。大規模工事とは 学校教育課長 を考える。 りPTA活動では対処で いるが、校舎南のポプラ 模改修工事が予定されて 百万円計上してあり対応 別に、外溝工事予算が六 の大木を工事時に撤去し 小立小学校で大規 大木であ

> され、四年生が環境問 の授業に活用している。 題・エネルギー等の理科 児童への教育効果は。 学校教育課長 された太陽光発電施設の 示すディスプレイが設置 小立小学校に設置 発電量を

▼小立小学校太陽光発電



を想定した避難訓練を実 の建物で問題はないが、 法上で昭和五十六年以降 九年三月に建設され、耐 施している。 震性については建築基準 学校教育課長 昭和五十 大規模地震が起きた場合 耐震対策と避難指導は。 十四%位賄えそうである。 小学校の年間使用量の 河口湖北中学校の

ると聞くが現状は。 保育所が手狭になってい

七十名(定員百八十名) 名)・小立保育所が約百 約二百七十名(定員三百 開設され、船津保育所が 年に「こもも保育所」 児童福祉係長 平成十四 をクリアしている。 べての保育所は耐震基準 している。なお、 した状態である事は承知 で定員内ではあるが混雑 町内す が

加盟しているのか。 eネットには何名くらい で不審者事件があったが、 過日、西湖南地区

てPRしている。 Rコード (左記) 現在二百三十名が加入し 内をはじめ公共施設・コ ているが、保護者への案 サービスを行っている。 口湖安心

・ネット」で不 学校教育課長 ンビニ等町内百箇所にQ 審者情報等のメール配信 「富士河 を 貼 っ



※ご登録願います。

## 経土木

副委員長 委 員 // // // 長 古屋 熊谷 駒谷 大石 小佐野弘士 真六 義行 一哉

## 町道の道路認定について

下水道事業特別会計補正予算(第一号)

般会計産経土木常任委員会関係補正予算

(第二号)

事をお願いしてある。 改修工事と併せて舗装工 課に依頼してある。側溝 建設課長 吉田支所道路

### 所 全 般

の看板を設置したい。

「町営駐車場」という表示

観光課長

早速検討して

び実施計画の策定を、 形測量・ 想については、平成十八 年度に、整備予定地の地 業概要を示せ。 農林課長 環境影響調査及 まきば公園構

され、

観光案内所が引越

士急行との契約行為がな

建設課長

観光協会と富

疎地域自立促進計画の事

九一色地域の過

いつ取り壊しをするのか。

してある観光案内所は、

河口湖駅内に設置

しを終えた時点を考えて

の道路の補修の進捗

旧河口湖町役場庁

の町営駐車場の舗装工事

旧グランドホテル

状況は。

が終わったが看板の設置

いては、 詳細設計を行い、 道の管渠の敷設替えにつ 溝と沈砂池二箇所につい 上水道施設係長 内完成を予定している。 ては設計が完了し、年度 である。雨水対策の排水 は、早々に着工する予定 れる多目的広場について グラウンドゴルフ二面取 中山間総合整備事業の

> 牛乳の処理施設が予定される富士ヶ嶺 年をかけて実施す 度から三年から四 なる予定である。 る予定である。

▶本栖湖青少年スポーツセンター

二十年度に工事着手を予 きば公園から切り離し富 製造工場については、 士ヶ嶺地区内に整備した 定している。牛乳の加工 九年度には実施設計を、 ま

平成十八年度に 簡易水 は、 物の整理統合についても 施する予定である。 量を行い五ヶ年計画で実 都市整備課長 屋外広告

らの移譲について 年度以降に実施し 修工事を平成十九 ンターの山梨県か 青少年スポーツセ た後に町に移譲と **観光課長** 本栖湖 県が施設の改 本栖上 ては、 たい。 年三月に開通を予定して 収を行う。平成十九年度 随時進めて行きたい。 に工事を行い、平成二十 トルについては、 良工事の進捗状況は。

本年度中に用地買 残りの区間につい

いる。 理事業の状況は。 小立地区の 区画整

野原線につい

度は、 の説明を行った。今年 度の事業及び予算関係 の席上において、今年 都市整備課長 重点において取り組み 換地処分作業を 総代会

いのか。 る道路の拡幅はできな して来た会社に連絡す 勝山地区に進出

では計画していない。 良事業については現段階 水圧が弱いがその後の取 近に住宅がないので改 建設課長 船津地区の水道の 隣接する付

り組みは。

平成十八年度計画測

ている工事区間二百メー たは九月に工事を実施し 建設課長 本年度予定し インター線新設改 八月ま は、 足を解消するため配管網 の口径を大きくする工事 連絡工事二路線及び配管 の見直しを行い、 上水道施設係長 路線を予定している。 既設管と既設管との 本年度 水圧不

整備は。 ヒメマス養魚場の

進める。 中で養殖池がよいのか地 いのか一年かけて研究を に調査費を計上し、湖の 上に池を設置するのがよ 辰林課長 平成十八年度

状況は。 観光課長 月問 77 やし 平成十七年 の里の進捗

いる。 過するということで砂防 年度は、足和田地区にお 仕上がっている。 いて災害から四十年が経 の予定で進めている。今 五日から第一期オープン 末で二十三棟中十一棟が 貸料館の建設を予定して 七月十

度末には五棟完成を見込 造館棟と体験工房棟の建 設する予定で平成十八年 そのほか、 地域文化創

## きたい

**,**]、

治

造館で、

## 食文化について

山河、 かせ頂きたい。 ての、 着し根付けば郷土料理と いっても郷土食は欠かす 統だと思う。それと何と い浮かべるのは、 言える。新しい試みとし ことは出来ない。長く定 に暮らす人々や文化、伝 対応と推移をお聞 町並みなど、そこ 郷土と聞けば、 自然の り、

計

画により建設を進めて

観光課長

都市再生整備

存である。

いるまちづくり活動推進

地域産品の創出が担当課 化を目指す上で、 とれた農林水産業の活性 と考えます。 に与えられた課題である 農林課長 環境と調和の 新たな

特産品として定着するも 秋から来春にかけ二万五 ましたが、今年一月栽培 ケ」が、量産体制に入る に成功した「シラフジタ った食材の開発をしてき 地域の気候、 本の収穫が見込まれ 風土に合

畜産団地を有する町となの合併により県下最大ののと期待されます。三月 乳、乳製品の製造工場の ド化を目指すために、牛 建設検討に入っている。 畜産品の地域ブラン 議員 ら郷土料理の定着に向け 推進の一環として、これ を招き、地域への料理の 屋、コンニャク懐石料理 ている。こだわりのそば らせるため、 た取り組みをして行く所 伝承を行い、 にした地場物産を現代ニ 力ある製品に生まれ変わ ズに受け入れられる魅

## 小学生への外国語 導入について

いやしの里』 事業の一環である、

地域文化創

、『西湖

部会におい ら週一時間程 せるかについ と提言されま る必要がある 度を必修化す について伺 た外国語専門 て検討してき に英語を学ば した。この件 五年生か 小学生

目的に

▶いやしの里

生活文化を背景 地産地消の 整備を進め いい いる。 るが、わが町でも、すべ くなることが、実感とし ら、音声に対する抵抗感 学年が英語活動を行って 習の時間などを使って全 ての小学校で総合的な学 解を深めることを重視す にコミュニケーションを て伝わる。数年後に導入 力がつき臆することがな ーションを図ろうとする がなくなり、 (ALT) との対話などか べきであると提言してい 図る態度の育成や国際理 て、 外国語指導助手 外国人と積極的 コニュニケ

される小学校の英語必修 研究が必要と考えている。 化への対応・指導方法の

## 体力強化について 自治体の

られる。いろいろな政策 があるが、 産業の繁栄と活性が求め も考えられるが、 必然となる。人口の増加 体が体力をつけることが、 るが、それには自治体本 税源移譲等が図られてい 各自治体への権限 回り大きく 町内の

> なった当町の地元業者 活性をいかに図るか伺

関係資料等を作成し、 三月、回帰支援センター をアピールしていくこと 住決定が見られた。 進事業関係にお に務めている。 かに富士河口湖町の魅力 っている。二地域居住の に加入し情報発信を行な 月末現在に四十四件の定 企画課長 まず、 いいて、 定住促 本年 47 五

町に、 いかに図るかが、課題だれには地元業者の活性を 必要だと考えられる。 業という関係の中で、 向上を図っている。 開発の中で自治体の体力 発のない自然を生かした 合計画等を踏まえ、 れる。まちづくり及び総 来年三件の操業が見込ま いが、既に五・六件来て、 と思われる。合併後の当 治体における体力向上が 観光、商業、 企業からの引き合 建設、 乱開 そ 自 農

### 日目

感想は

「素晴らしい」の

トヨタ堤工場での視察。



平成18年度の町議会議員による県外視察研修は、兵庫県朝来市和田山町にある、こんにゃく懐石 の料理屋「一粒」(いちりゅう)が7月に西湖根場地区にオープンする「いやしの里」に"出店 すると聞き、ひと足先に体験、試食することを目的に加え、5月22日から25日と少々よくばった日 程での視察研修となった。

- 1日目は「世界のトヨタ」の生産ラインの工場視察。
- 2日目は目的のこんにゃく懐石「一粒」での試食、朝来(あさご)市和田山町で建設した都市・ 農村交流施設「山城の郷」の視察。
- 3日目が福井県の関西電力・美浜原子力センターの視察、石川県能登半島の「加賀屋バイオマス の体験と取組みについて」の講演、ならびに七尾市での「バイオマスタウン構想」の講演。
- 4日目が富山県高岡市にある安永年間に建築された豪農の「武田家住宅」、高岡陶器展示館の視 察と、盛りだくさんの内容で、9県をまたぐ、延べ1,500キロの視察、研修であった。

行き届いた清潔感を感じ

が行き届いてる。

でわかり「目で見る管理」 がどうなっているか一目

創意工夫で「良い品質

この様に人間が人間の

高い生産性」をあげてい

せるもので、

整理整頓が

## 「かんばん方式」 により効率アップ

事である。

独自の

場の一日の生産台数が千 を流れており、 車種がランダムにライン 八百台に及んでいるとの この堤工

なく、 ションの「自動化」では の考え方は、 く」と言う考え方でニン トヨタ自動車の生産上 人間が自から働ら オートメー れる。 つないでいるものと思わ 生きたパイプをしっかり

トヨタ自動車の視察で

った。 ミオ、カルディナ等々七 が九百メートルに及びハ させられる組立工場であ スをはじめカムリ、プレ イブリットカーのプリウ 建物(ライン) の長さ

「目で見る管理」 あんどん」 により

夫・改善の提案は年間六 十万件に及ぶそうで、 従業員による創 意 審

を行っていた。 を流れる車に的確に作業 が決っており、コンベア 人一人の受持ちエリア 工場内での作業方法は

ある。

稼動で一直を千人の作業 者で生産をしている。 二交代制の二十 . 匹 |時間

七種類の車を

日千八百台生産

容を紹介したい。

言に尽きるが、

その内

ばん」で指示され、作業 すれば良いか、部品は何 方法が明確になっており を使えば良いかが「かん は自分のエリア内で何を 方式」を採用し、作業者 のために、有名なトヨタ ミスのない仕事が出来る 自動車独特の「かんばん 高品質なクルマづくり

な素晴らしいものではな

歴史と年輪を感じさ

工場そのものは近代的

最も経済的なシステムに 方式」により、 なっているとの事である。 「在庫」や「欠品」がない ようになっていた。 また、この「かんばん ムダな

るとの事である。

は年間六十万件 創意工夫の改善提案

と従業員とが一体となり 査委員会と会社の執行部

と呼ばれる表示板に連動 考え方を徹底することで 引いた合図は「あんどん」 組になっている。ヒモを アに「ひもスイッチ」と ベンのつく し、工場内の生産の状態 つけたりしたら「ヒモ」 組付が遅れたり異常を見 呼ぶ白色のヒモがあり、 ムリーダーが対応する仕 を引くことにより、チー 作業する人のエリ 「自働化」 0

が生かされる血の通った いている人の意見や提案 動の中での創意工夫・改 み上げを実感した。 した、トヨタの日頃の積 連携によって世界を制覇 細かい事でも働

は、

企業の理念、

生産活

## 目治体の運営にも 大いに参考になる

がり、 行政が生きたパイプで繋 が肝要である。 参考に、町民一人一人と これらの企業体の運営を 我が富士河口湖町でも、 地域振興への取組み 住み良い環境づく

でも一つ一つ積み上げ町 切磋琢磨して小さなこと 身の意識改革のもと日常 割をしっかり認識し、 いきたい。 の発展、繁栄につなげて 私たち町議会議員の役 自

## 日目

## 出石(いずし)は 歴史の町、そばの町

出石城跡は、 城の規模

> された隅櫓が残る城 はあまり大きくはない を今に伝えている。 を偲ばせ、 る砦代わりの寺院も昔 今でも石垣や復元 周囲にいくつか残 城下町風情

名宗全も一族である。 代に起きた応仁の乱の西 めた。山名氏は室町時 の総大将として有名な山 たことにより隆盛を極 山名一族が本拠を構え ら戦国時代にかけては 書紀にも登場する古い 出石は古事記、日本 特に室町時代か

封されたなど、歴史的な の裁きを受け出石藩で五 発端のお家騒動で、幕府 エピソードの残る町であ 万八千石から三万石に減 派と保守派の勢力争いが 騒動があった。時の改革 お家騒動のひとつ、仏石 江戸時代には江戸三大

明治時代には、 日本の 現

与えている。 在の日本に多大な影響を を多く輩出しており、 政治の基盤を作った人物 「出石皿そば」 は有名



▶出石の史跡の説明を聞く

が、 通」と言われる。 そばを引き立てる。通常 な薬味も特徴があり、 たて」製法である。多彩 茹がきたてが伝統の「三 高さまで食べると「そば 人前五皿となっている 地元では箸を立てた 挽きたて、打ちたて Ш.

る。 したのが出石皿そばであ 指のそば処と知られてい そば屋さんが並ぶ関西屈 その際供として従えて来 在来の技術が融合し誕生 たそば職人たちの技術と、 仙石氏がお国替えとなり、 ,時代の始め信州上田の そばの歴史も古く、江 今では約五十一軒の

> を受け、 ことで有名である。 けを広く世の中に広めた 沢庵和尚も出石の生ま 徳川三代将軍の厚遇 漬け物の沢庵漬

る。 食文化が織りなす街であ 出石とはそんな歴史と

## 和田山地区を訪れて

年四月一日誕生した。 約三万五千人、平成十七 和田山町、生野町、山東 朝来市となっている。 この町は合併し、 今回訪ねた和田山 朝来町の四町で人口 今は 地区 旧

しようと努力を いる。朝来市で 三大ねぎの一つ 津ねぎは、 は市の特産物に として知られて ここ十年 日本

こととなった。

「いやしの里」に出店する

和田山コンニャク

馬牛、お茶、お 米もつくってい る。その他に但 の生産地であ ンニャク、ねぎ は山間地区でコ

特に特産の岩

▶一粒でのこんにゃく会席

ぎブランドも定着し人気 集め大成功した。岩津ね 町多々良木で行い人気を ぎまつり」を道の駅朝来 昨年十一月には「岩津ね で十倍の生産量にし、 売も順調に推移している。 販 名で、 建設、 料理店「一粒」が我が富 またコンニャク料理も有 品のブランド化に成功、 する土づくりセンターを 発生する牛、 士河口湖町西湖根場の

岩津ねぎ等の特産

鶏糞を使用

農家の高齢化が進み同町 歳を超えているといわれ の農家の平均年齢は七十 は順風満帆と言い切れな 上昇中である。 しかし岩津ねぎの将来 現在二百戸ある生産

社会をめざし、 あるが、地域では循環型 このような不安要因も 地域内で

性 議会研修三日 貝 最初

原子力発電所の安全

三日目

り、 つど放射もれが話題にな 故の事が掲載され、 ない状況であるが、 所に依存しなくてはなら のPRセンターである。 の研修地は原子力発電 いくたびか新聞紙上に事 活は近年特に原子力発電 ご存知の様に我々の生 不安と疑惑が生まれ その 過去

発事故、原子力潜水艦の 故障による放射能もれで 共和国の原子力発電所爆 海外では隣国のロシア



▶美浜原発での研修

見て大変心配になる。 様子をテレビでの報道を 生物が被害に遭っている 何十年何百年の間地上の

もんじゅ建設所と日本原 子力発㈱の敦賀発電所が 燃料サイクル開発機構の 浜発電所と大飯発電所が は美浜発電所に続いて高 解と協力で若狭湾地内に 調和に十分な配慮をして 美しい自然環境の保全と るため発電所の建設にも は若狭湾国定公園内にあ にあり、また、この場所 福井県の若狭、 関西電力美浜発電所は 特に地元住民の理 附近には核 敦賀半島

> あり、 が有れば大惨事に 時にわずかなミス うしてこの地域に 電のふるさととも は日本の原子力発 みまわれる可能性 不思議に思うと同 結しているのかと 原子力発電所が集 言われている。 たぶん皆様もど 若狭湾周辺

用のため海岸線沿いであ るでしょう。 る事が条件である。 つめは冷却水に海水を使 震を考慮しての硬い岩盤、 はできない。一つめは地 は絶対条件がないと建設 一つめは広大な土地、三 原子力発電所の建設に

これらのきびしい条件を 間が経過、 寄与し、すでに三十五年 昭和四十五年十一月に営 年八月に一号機が着工し、 気の六割以上を供給して ネルギーを利用し発電に 業運転を開始し原子力エ クリアーして昭和四十二 関西電力美浜発電所は 今では必要電

いる。 ているため今後益々エネ また、

クリーン性にすぐれ

経済性や安定供

が有るかもしれな は広く公開し、 ルギーの需要が高まる上、 いて理解を求めていくに 子力エネルギーの事につ となるそうだ。 環境保全にも重要な対策 今後将来に向かって原

する事が豊かな未来社会 所要所にPRセンターを ると、説明があった。 設け安全対策を第一優先 横築につながる事にな また、要

いと言う不安があ

## バイオマスの活用 .加賀屋. の取り組む

の対策を積極的に打ち出 まった。ご存知の方も多 るや、休むまもなく研修 し、少しづつではあるが は将来に向けて環境保全 室へ案内され研修会が始 目的地に午後五時到着す ルはかなりハードである。 今回 全国十傑である和倉 の研修スケジュー 「加賀屋」である。 各自治体、企業

> 切となり、 取りくむ事が急務である。 ては特にこの問題に早く 後ますます環境保全が大 観光地におい

の飼育を始めた。

挑戦である。 組みを始めた事は新たな 地産地消につなげる取り 食品残渣をバイオマス 場から出る生ゴミなどの 泉の「加賀屋」が、調理 (生物源)として再利用し、 その点いち早く和倉温

る残渣を加工した堆肥や 具体的には、 旅館で出

ている。 地産地消のブランド化が 循環型社会の実現と同時 完成できると自信を持っ に一〇〇%地元で育てた 関係者は環境に優しい さらに七尾市とJA能

仲介などで協力し、さら 登わかばも生産農家との

さえもおびやかされてい

された。 として本年採択 モデル推進事業 食品リサイクル 創出支援機構の 者と共に県産業 に金沢市内の業

設ができた。 ホテルや観光施 津々浦々に観光 業界では、全国 特にサービス産 産業が発展し、 時にはすべての 高度経済成長 正

▶バイオマスの研修

加工を請け負うNPO法 からは加賀屋等の残渣の て出す事を決めた。今月 人が作る飼料でニワトリ 1) 受ける事になった。

まり、 事が感じられ、 甘い言葉に惑わされ生活 検査体制も適当になった 海外への食糧依存率が高 により食生活は不規則に そして不健康になった。 を楽しんで来たがその事 今ではあたり前の様に 今までは使い捨はあた それに増して各種 消費は美徳と言う 食の安全

後とも注目していく必要 における循環型地産地消 あるので各方面で環境保 の行政及び地域住民が協 後益々問題になる。地域 のモデルケースとして今 活用への挑戦は、 いう一企業のバイオマス しているが、「加賀屋」と のために色々と試行錯誤 全、地元の食材の利活用 士箱根伊豆国立公園内に ランキングされている富 は全国観光地ベスト5に く事が大切である。当地 力して問題を解決してい 同時にゴミの増大も今 観光地

に拡大の一途で

館が買いとり、 畜を育て、 飼料を使い有機野菜や家 その食材を旅 料理とし

成果が出てきている。

ときびしい経済的打撃を 済成長が終わりを告げる あったが平成に入り、 経

があろう。

### 進

学校も木造危険校舎であ 宿村へ七十戸が移住、 和四十六年、青木ヶ原民 流災害の恐れがあり、 精進湖畔の旧部落は土石 観光客対象の営業が多い。 に新築した。 ったため平成二年現在地 ○一人、旅館、 戸 数一〇六戸、 民宿など 人口二 小 昭

天正壬午以降徳川家康の 駅として繁盛していた。 言われた時代伝馬制の宿 戸軒を並べ市街をなす\_ によれば 八甲に中道往還は度々利 甲斐国誌(一八一三年) 中道往還が魚の道と 「民居三百五拾



天正壬午の時、

織

田

いる。 開催等集客 して復活 釣の名所と に努力して カヌー大会 昭和三年

警護の労に対し諸商売免 書も残る。 用され精進に宿泊した文 を上げてきた。 により諸国を商売し利益 許の特権を与えている九 一色郷の人達はこの特権 地元の案内や

が多く生産された。 で天秤棒、糸枠、下駄等 利用され蚕種を運搬する 頃富士風穴が蚕種貯蔵に した由、又、 人々で中道往還は列をな 明 治時代養蚕が盛況の 木工も盛ん

有名になる。 御清遊。 訪精進ホテルに宿り岳麓 進ホテルを建設、 エーデン国皇太子も来訪 大正十一年皇太子殿下来 の観光の幕開けとなる。 イット・ウォーズ氏が精 躍国際的観光地として 明治二十八年英国人ホ 大正十五年スウ 戦中、戦後 精進湖

光をヘラ鮒 衰退した観

社の大杉が天然記念物指 旧集落中程に在る諏訪神 人でもある。 盛衰を見届ける歴史の証 余の大樹はこの地の栄枯 定となる。 樹齢千二百年

## 本

十五人、湖水を観光資源 戸数五十戸、人口百五

される。 埋め、 民家は埋り住民は居な 本栖、 くなった」。今は樹海の 被災状況を検証した三 歴史上本栖の地名は貞 業の生活基盤である。 は人々の居たことが想像 なり湖の魚亀は死絶え が北麓に大量押し出し 大実録年にある「溶岩 観六年富士山大噴火の 部となっている地域に 剚 水は熱して湯と (せ)の海を

が物語っている。 地頭の屋敷跡などの遺構 警護のための、山城、 な中道往還が通り、 結ぶ軍事、 本栖は、 狼火台、土塁、 交易共に重要 甲斐と駿河を 石塁、 国境 関

われ宿駅として繁盛した。

ぶ魚の道として伝馬制が行

ら甲斐へ塩、

魚貝類を運

重三重に棚を作らせ、其 構に輝くばかり相構え二 に警護を配り峠には茶屋 口に一泊した信長は、道々 公記に「四月十一日右左 途本栖に一泊した。 の上諸士の木屋々々千間 本栖に至った、御在所結 を置き木を伏せ道を広げ 徳川の両雄が駿河への 信長

とした漁業や農林の兼

▲石塁

置き」。と記述されている。 に余り御殿の四方に作り 近世中道往還は駿河か

列や六斉大念仏講がある。 残る。伝承行事に、公家行 数万本に達したと記録が 本栖は金剛杖を作り年間 大正期富士登山が盛り

に思う。 では伝統と歴史を感じる 茅葺民家が多数有りまし たが全部改築されて残念 平成五年国道の拡 幅ま

## 富士ヶ嶺

ら五十九年が経ち一世代 の高齢化で営農戸数は減 口七百四十八人、入植か 戸数二百五十五戸、人

われた。

草地造成、

施設整備が行

湖から揚水した水道完成 が売渡された。二十余年六・六ヘクタールの土地 年残った百五十七戸に 少している。 り二ヶ所にボーリングで するも将来的に不安があ 天からのもらい水で生活 が離農した。昭和三十一 件に耐えられず半数以上 者が入植、 い原野に約四百戸の開拓 日量千六百トンの水 したが、昭和四十年本栖 戦後、水も無い道も無 厳しい自然条

千頭、 日四十トンを生産し 百頭を飼育、 進んだ現在、 源を開発した。 農家の規模拡大が 肉用牛二千五 乳牛三 牛乳一

> 施、 設事業を五十八年より実 然災害や病虫害に対応し 雑穀から大根、 富士西麓地域畜産基地建 なり山静両県にまたがる が進むにつれ、 牧草地やゴルフ場と開発 て変化してきた。地域が 水が静岡側からも問題と 入植以来の営農形態は 防災ダム、 豪雨の洪 乳牛と自 排水路、

いる。 で続いた。 平成十七年完成稼動して 理施設バイオセンターが も規制対象となり糞尿処 躍的に進行した。平成二 事業により舗装整備が飛 和四十年代県の土地改良 の住民運動は麻原逮捕ま により不安が広まり反対 拡域にわたる道路は昭 オウム真理教の進出 近年畜産公害



## まれ育ち、

仕事と 口湖と共に五十一 ボランティア 富士河口湖町に、 富士山と河 年、 生



町の整備が進み目まぐ

アパート、分譲住宅、年余り、マンション、 でした。それから三十 まったなと、その当時 けで大変な所へ来てし 四十九年。 に移って来たのが昭和 キジ、自然がいっぱい た。家の周りには狐や 富士山は一人占めでし す。しかし、その反面、 のことが思い出されま 家があまりなく畑だら 私が今の地、 周りには、

と。その中で先輩方に 十八歳から五十歳代 の当時団員数も多く、団に入団しました。その時に、消防団船津分

と思っています。 したが良い経験だった 河口湖の増水、住宅災 ました。又、 を勉強させていただき この河口湖にも様々 大変な思いもしま その他の捜索、 台風災害、

> 富士河口湖町船津 英

之

この地を見つめてきま

付き合い

社会の中でボランティ

中で仕事をし、 この美しい自然環境

地域

、活動できる幸せを、

いと思います。思い、社会に貢献した、に育ったことを誇りに、この町

4月~ 議員活動状況報告(振粹) 6月

### 4月

南北都留郡町村議会正副議長連絡協議 7日 会総会

町消防団出初式 9日

10日 議会運営委員会 第3回臨時議会

産経土木常任委員会

29日 甲斐のかつやま流鏑馬祭り 町民皆歩

### 5月

12日 産経土木常任委員会

22日~25日 議会議員視察研修

(兵庫県朝来市、石川県七尾市)

### 6月

町村議会議員研修会 2日

5日 議会運営委員会

6月定例会本会議(専決・条例) 12日 全員協議会 議会運営委員会

13日 本会議(一般質問) 文教社会常任委員会

14日 総務常任委員会

産経土木常任委員会 15日 6月定例本会議閉会

全員協議会 ハーブフェスティバルオープニング 16日

21日 全員協議会

全員協議会 29日

### 議会を傍聴しましょう!! 次の定例会は9月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ 傍聴してください。入口には、注意事項が掲<u>示され</u>



観光施設

祉、 生 涯

ではないかと思い 新しい仲間が増えるの か。人生が変わったり、 みてはどうでしょう あるので色々経験して なボランティア活動が

より、 館開館、 した。 としての役割も果たします。 の場でもあります。さらに、 学習の場、 お届けします。ご必読お願いします。 それは住民の健康維持、 七月一日生涯学習館、子供未来創造 富士河口湖町議会だより第十一号を 七月十五日いやしの里開館に の諸施設が充実してまいり 住民のコミュニケーション 福

町民ひとしく利用したいものです。 多くの人の利用をお待ちしております。 民が快適に暮らすための施設であり、 これらの諸施設は、まちがいなく住

